

同時資料配布先:

大阪経済記者クラブ
大阪科学・大学記者クラブ
学研都市記者クラブ

2018年7月3日

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

**未来社会を支える温暖化対策技術シンポジウム in 関西
開催のご案内**

当機構は、9月26日(水)、大阪科学技術センター大ホールにおいて、当機構の最新の研究成果についてご報告するシンポジウムを開催いたします。

一昨年に発効したパリ協定の枠組みのもと、各国において地球温暖化防止へ向けた取り組みが進められていますが、抜本的に温室効果ガスを削減するためには、革新的技術の開発が欠かせません。

当機構は設立以来、地球温暖化対策に資する革新的なエネルギー・環境技術の研究開発を行ってきており、その研究成果を適宜、情報発信してきました。今回は、とくに当機構の研究活動にご関心をお持ちの関西の方々に多数ご参加いただける機会として、大阪において標記のシンポジウムを開催いたします。

1. 開催趣旨

今年5月にドイツ・ボンにおいて、温暖化対策の国際的枠組みであるパリ協定の詳細な実施ルールを話し合う会合や各国の野心レベルを引き上げるための「タラノア対話」が行われ、新たな枠組みのもとで実効性のある温暖化対策を推進するための取り組みが進められています。我が国においても、4月にエネルギー情勢懇談会の提言、5月に第5次エネルギー基本計画(案)が示され、パリ協定で提出が求められている温暖化対策の長期低排出発展戦略の策定へ向けて議論が進められています。そしてその中で、温暖化の対策技術については、抜本的に温室効果ガスを削減するための革新的な技術の開発、実用化が不可欠とされています。

当機構は設立以来、地球温暖化対策に資する革新的なエネルギー・環境技術の研究開発を推進するとともに、地球温暖化対策のシナリオ分析を行ってきており、その研究成果を国際的な温暖化問題の情勢を踏まえながら、適宜、情報発信してきました。今回は、とくに当機構の研究活動にご関心をお持ちの関西の方々に多数ご参加いただける機会として、大阪において標記のシンポジウムを開催いたします。

本シンポジウムでは、当機構の研究領域である CCS 技術^{※1}、バイオリファイナリー技術^{※2}、無機膜^{※3}を用いた分離・精製技術の研究開発や温暖化対策のシナリオ分析等の最新の研究成果をご報告いたします。また、特別講演として、大阪大学の下田吉之教授をお招きして、「都市から考える将来の低炭素社会の姿」と題してご講演いただきます。地球温暖化問題やその対策技術にご関心をお持ちの多くの皆様のご参加をお待ちしています。

※1 CCS: Carbon dioxide Capture and Storage. 発電所や製鉄所の排気ガスから CO₂ を分離・回収し地中に貯留する技術

※2 バイオリファイナリー: バイオマスからバイオ燃料や化学品を生産する技術

※3 無機膜: 水素社会に不可欠な水素の分離・精製などへの適用が期待されるセラミックや金属製の薄膜

2. 開催概要

主催: 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構(RITE)

後援: 近畿経済産業局、公益社団法人 関西経済連合会、公益財団法人 新産業創造研究機構、
公益社団法人 日本化学会、公益社団法人 化学工学会、
公益社団法人 日本農芸化学会、一般社団法人 エネルギー・資源学会、
一般社団法人 日本エネルギー学会

日時: 2018年9月26日(水) 13:30~17:25 (受付開始 13:00)

会場: 大阪科学技術センター 大ホール

参加費: 無料

プログラム:

- ・特別講演:都市から考える将来の低炭素社会の姿
大阪大学大学院工学研究科 教授 下田 吉之
 - ・講演 1:パリ協定を踏まえた気候リスク対応戦略と各種対策技術の役割
システム研究グループリーダー 秋元 圭吾
 - ・講演 2:炭素循環社会の実現を目指したバイオリファイナリー生産技術の開発
バイオ研究グループリーダー 乾 将行
 - ・講演 3:RITEにおける高効率 CO₂ 分離回収技術の開発状況
化学研究グループ副主席研究員 余語 克則
 - ・講演 4:CO₂ 地中貯留技術開発の現状と実用化への課題
CO₂ 貯留研究グループリーダー 薛 自求
 - ・講演 5:低炭素社会への貢献をめざす無機膜研究センターの取り組み
無機膜研究センター副センター長 山口 祐一郎
- (詳細はパンフレットを参照願います。)

3. 参加登録

参加を希望される方は、RITE ウェブサイト <http://www.rite.or.jp> よりお申し込み下さい。

4. プレス登録

取材を希望される報道関係の方も、事前に参加お申込み下さいますようお願いいたします。やむを得ず当日受付となる場合は、本人確認のため名刺をご持参下さい。

本件に関するお問合せ先:

(公財) 地球環境産業技術研究機構

企画調査グループ 広報・産業連携チーム 中村、大西、辰巳

TEL: 0774-75-2301 FAX: 0774-75-2314

未来社会を支える 温暖化対策技術シンポジウム in 関西

2018年9月26日(水) 13:30 ~ 17:25(受付開始 13:00)

大阪科学技術センター(OSTEC) 大ホール **入場無料**

主催：公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

後援：近畿経済産業局、公益社団法人 関西経済連合会、公益財団法人 新産業創造研究機構、公益社団法人 日本化学会、
公益社団法人 化学工学会、公益社団法人 日本農芸化学会、一般社団法人 エネルギー・資源学会、一般社団法人 日本エネルギー学会

SCOPE

今年5月にドイツ・ボンにおいて、温暖化対策の国際的枠組みであるパリ協定の詳細な実施ルールを話し合う会合や各国の野心レベルを引き上げるための「タラノア対話」が行われ、新たな枠組みのもとで実効性のある温暖化対策を推進するための取り組みが進められています。我が国においても、4月にエネルギー情勢懇談会の提言、5月に第5次エネルギー基本計画(案)が示され、パリ協定で提出が求められている温暖化対策の長期低排出発展戦略の策定へ向けて議論が進められています。そしてその中で、温暖化の対策技術については、抜本的に温室効果ガスを削減するための革新的な技術の開発、実用化が不可欠とされています。

当機構は設立以来、地球温暖化対策に資する革新的なエネルギー・環境技術の研究開発を推進するとともに、地球温暖化対策のシナリオ分析を行って政策提言につなげてきました。本シンポジウムでは、内外の温暖化問題の情勢や技術動向を踏まえながら、当機構の最新の研究開発成果についてご報告いたします。



プログラム

- 13:00 受付開始
- 13:30 ~ 13:35 開会挨拶 専務理事 **本庄 孝志**
- 13:35 ~ 13:40 来賓挨拶 近畿経済産業局 資源エネルギー環境部 次長 **山口 洋**
- 13:40 ~ 14:10 特別講演 **都市から考える将来の低炭素社会の姿**
大阪大学大学院工学研究科教授 **下田 吉之**
- 14:10 ~ 14:45 講演 1 **パリ協定を踏まえた気候リスク対応戦略と各種対策技術の役割**
システム研究グループリーダー **秋元 圭吾**
- 14:45 ~ 15:20 講演 2 **炭素循環社会の実現を目指したバイオリファイナリー生産技術の開発**
バイオ研究グループリーダー **乾 将行**
- 15:20 ~ 15:50 コーヒーブレイク
- 15:50 ~ 16:25 講演 3 **RITE における高効率 CO₂分離回収技術の開発状況**
化学研究グループ副主席研究員 **余語 克則**
- 16:25 ~ 17:00 講演 4 **CO₂地中貯留技術開発の現状と実用化への課題**
CO₂貯留研究グループリーダー **薛 自求**
- 17:00 ~ 17:20 講演 5 **低炭素社会への貢献をめざす無機膜研究センターの取り組み**
無機膜研究センター副センター長 **山口 祐一郎**
- 17:20 ~ 17:25 閉会挨拶 常務理事 **大西 晃**

アクセス

大阪科学技術センター (OSTEC)

8F 大ホール

- 地下鉄四つ橋線「本町」駅 28号出口より北へ徒歩5分
- 地下鉄御堂筋線「本町」駅 2号出口より西へ徒歩8分
- 地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅 7号出口より南へ徒歩5分

お申し込み

RITE ウェブサイト

<http://www.rite.or.jp> よりお申し込みください。

